

もったいないからありがとうに!

はじめよう、フードドライブ

— 岐阜県フードドライブ実施マニュアル —

目次

1	はじめに	1
(1)	フードドライブって何?	1
(2)	なぜフードドライブなの?	2
2	実施に向けて体制を整えよう	2
3	実施計画を立てよう	2
(1)	実施方法(時期、頻度、場所等)	2
(2)	食品の提供先の確保	3
(3)	回収する食品のルール	3
4	事前準備をしよう	4
(1)	必要な資機材(例)	4
(2)	会場レイアウトイメージ(例)	5
(3)	広報	5
5	フードドライブを実施しよう	6
(1)	人員	6
(2)	当日のスケジュール、受付手順	6
(3)	集計	7
(4)	食品の分類方法	7
6	実施後の作業とは?	7
(1)	食品提供先との調整	7
(2)	引渡しまでの保管場所	8
(3)	引渡し方法	8
7	参考資料	8
(1)	実証に先立ち行った先行事例調査	8
(2)	令和4年度岐阜県フードドライブ推進事業における実証について	8
(3)	県内で実施されたフードドライブ	10
(4)	実施を検討されている方へ	12
8	おわりに	15

令和6年3月改訂
岐阜県



1 はじめに

県では令和4年3月に「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定し、家庭における未利用食品等の有効活用を食品ロス削減対策の柱としています。それを受け、家庭系食品ロスの削減の一助となるフードドライブの取組を促進するため、令和4年度に県がモデル事業として県内3ヶ所でフードドライブを実施し、手順や留意事項、また今後活かすべき課題をマニュアルとして整備しました。

本マニュアルを通じて、地域におけるフードドライブの取組みが活性化していくことを期待します。

📌 指標

「岐阜県食品ロス削減推進計画」では、県内のフードドライブ活動の促進に向けて、以下のとおり指標を設定しております。

指標	基準値(基準年度)	令和7年度目標値	令和12年度目標値
フードドライブを実施した市町村数(累計)	4(令和3年度)	21	42(全市町村)

<実証概要> 県内3ヶ所において以下の日程でフードドライブを実施。

- ・海津市(海津市エコドーム) 令和4年 9月17日(土)～10月16日(日)
- ・恵那市(パロー恵那店) 令和4年10月15日(土)
- ・高山市(ラクール飛騨高山店) 令和4年10月 1日(土) ※高山市快適環境づくり市民会議フリーマーケット会場内

(1) フードドライブって何?

フードドライブとは、ご家庭で使いきれない未利用食品を集め、食品を必要としている福祉団体・施設等に寄付する活動のことです。最近では、公共施設だけではなく、イベント会場やスーパー等、私たちの生活の身近な場所でも実施されています。

フードドライブは、食料支援が必要な方への支援だけではなく、ご家庭から出る食品ロスの削減にも繋がる取組みです。

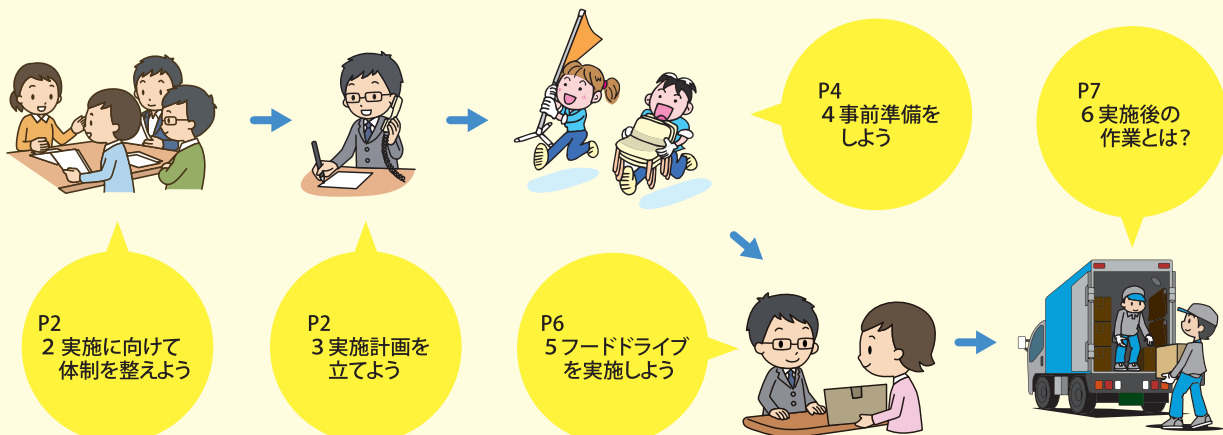
<フードドライブとは>



<寄付先の例>

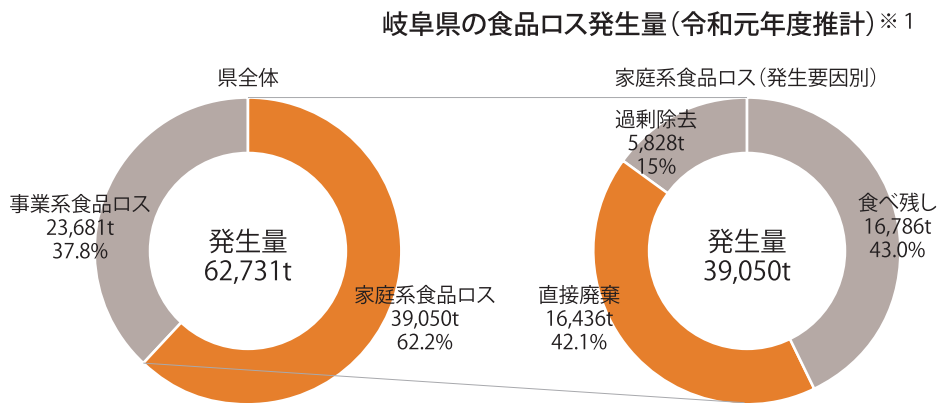
- ・フードバンク
- ・生活困窮者支援団体
- ・子ども食堂
- など

<実施主体におけるフードドライブの流れ>



(2) なぜフードドライブなの？

本県の食品ロス発生量は令和元年度推計で年間62,731トン、うち事業系が23,681トン(37.8%)、家庭系が39,050トン(62.2%)あり、家庭系食品ロスの占める割合が高くなっています。



「直接廃棄」とは、賞味期限切れ等で手つかずのまま廃棄されたものです。



※1 令和4年3月 岐阜県食品ロス削減推進計画より一部抜粋

そのうち約40%が賞味期限切れにより直接廃棄された食品であり、これらは賞味期限内に有効活用されていれば食品ロスとはならなかったものです。一方で、環境に関する県民等意識調査※2によれば、「環境にやさしい行動を実践するうえで、何をどう行動すればよいかわからない」方が約40%を占めています。

そこで、県では、県民が気軽に参加できるフードドライブの促進への取組みを通して、家庭系の食品ロスの削減を進めています。

※2 「環境に関する県民等意識調査 一般県民を対象とする調査(令和元年度)」(岐阜県)

2 実施に向けて体制を整えよう

実施に向けて事前に体制づくりをしておく、調整を円滑に行うことができます。県で実施した際には、県廃棄物対策課、各市環境関係課以外に、食品提供先、福祉部局、その他関係者からなる岐阜県フードドライブ検討会議(P13[8 おわりに]参照)を立ち上げ、事前に実施方法の調整や意見聴取等を行いました。

企業やその他の団体が実施主体となる場合においても、自治体の関係課や地域の社会福祉協議会へ相談し、連携を図り、実施体制を整えましょう。

3 実施計画を立てよう

フードドライブを実施するにあたって、まずはどこで実施するか、どれくらいの期間実施するか、といった具体的な手順を検討しましょう。

(1) 実施方法(時期、頻度、場所等)

フードドライブを実施するには、以下のとおり3つのパターンがあります。

実施パターン	具体例
常設での実施	施設の窓口、会社の営業窓口、店頭等に回収ボックスを常設。
イベントに合わせて単発で実施	環境関係のイベント内にブースを設けて実施。
定期的実施	月1回定期的実施

このうち、「常設での実施」の場合は、回収ボックスを設置することで、人的負担を軽減することができます。

施設の窓口やイベント等人通りがある場所で実施したり、回収場所付近にのぼりや案内表示を設置したりすると、人の目につきやすくなります。

また、食品衛生上の観点から、直射日光が当たる場所や高温多湿の場所を避けましょう。保管場所等が無人になる場合は、施錠できるような箱や部屋にするといった対策も必要です。

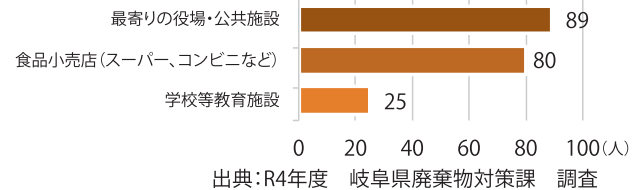
なお、場所を借りて実施する場合は、既存の設置物との混同や、資機材の搬入時の事故を避けるため、実施前に参加者やスタッフの動線の確認をしておきましょう。



高山市快適環境づくり市民会議主催のイベント内でブースを設けて実施。(令和4年10月)

④どこで開催されていると、参加しやすいですか。

県の実証における参加者へのアンケートによると、参加しやすい施設は、「最寄りの役場・公共施設」が最も多く、次いで「食品小売店」でした。近場や普段からよく行く場所で行っていると参加しやすいことがうかがえます。



(2) 食品の提供先の確保

実施方法が決まったら、食品の提供先の検討が必要です。食品を必要としているフードバンク、子ども食堂、生活困窮者支援団体等は、自治体の福祉部局との繋がりが強い場合が多いため、自治体の環境部局等が実施主体となる場合は、福祉部局と連携して、食品の提供先を調整しましょう。

また、企業や団体が実施する場合は、各団体に直接連絡する前に、最寄りの自治体の福祉課や地域の社会福祉協議会に相談してみましょう。

なお、P12「7(4)実施を検討されている方へ」には食品提供先の団体の一部を掲載していますので参考にしてください。

④いつまでに食品提供先と調整すればいいの？

県の実証で食品提供先となった団体には、**半年前から1ヶ月前には調整**を行いました。早いうちに、まずはフードドライブで集めた食品を寄付したいことを伝え、**対応が可能とのことであれば、対象食品の内容(受付できない食品がないか)、引渡しの方法について確認**するようにしましょう。団体によって希望する食品や量、保管場所は異なりますので、団体ごとに確認が必要です。また、引渡しについても、団体が受取りに行くことも可能な場合がありますが、**原則実施主体側が配送する前提**で調整しましょう。

(3) 回収する食品のルール

受付から引渡しまで食品衛生上の問題が生じないように、以下のような条件を基本として食品を集めます。なお、希望する食品の品目や条件は食品提供先の団体によって異なりますので、事前に確認しましょう。

<回収食品のルール(例)>

お持ちいただきたい食品

- ・賞味期限が2ヶ月以上のもの
- ・常温保存が可能なもの
- ・未開封で包装が破損していないもの
- ・食品表示が日本語のもの



受付できない食品

- ・生鮮、冷蔵、冷凍食品
- ・アルコール類(調理酒、みりんを除く)
- ・賞味期限等の記載がないもの
- ・手作り品、お弁当、食べ残しの食品



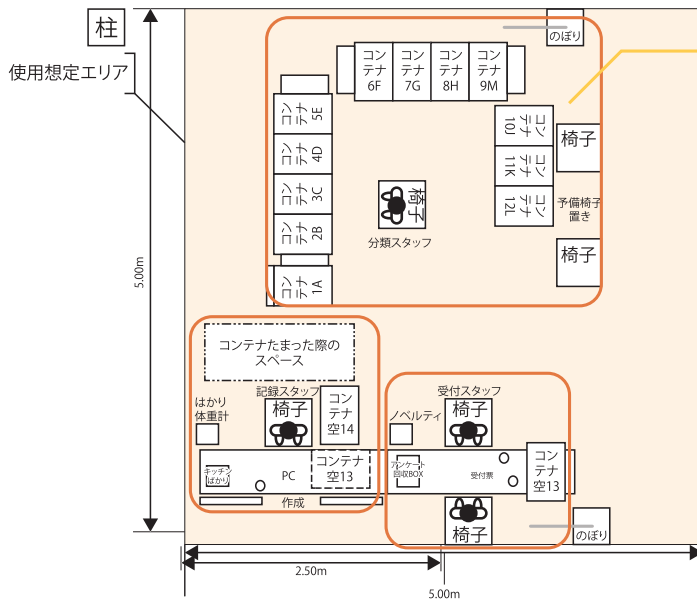
注意が必要な食品

- ・味付けが特殊なもの
- ・海外製品(日本語表記されている場合も含む。) ▶ 食べられる方が限定される。
- ・市販ではない米 ▶ 個人によって管理にバラつきがあり、保存状態が悪い場合がある。
- ・一品物の食品 ▶ まとまった数が必要な団体では受取りが難しい場合がある。

*食品提供先と調整する際に、賞味期限まで1ヶ月前後しかない食品でも対応可能な場合においては「1ヶ月以上」と設定してもよいでしょう。

(2) 会場レイアウトイメージ(例)

県で実施した際には、食品の受付、記録、食品の分類の担当でエリアを分けて回収場所を設置しました。
また、受付後の食品は、受付の裏手側に置いて関係者以外が触れないようにする等、安全確保の観点から食品の配置場所や管理状態には十分留意しましょう。



食品を入れるコンテナ(分類ごとに用意)
※食品分類はP7「5(4) 食品の分類方法」参照



高山市で実施した際の受付ブース(令和4年10月)

(3) 広報

実施内容の詳細が決まったら、多くの人に参加してもらえよう広報を行いましょ。チラシ、ポスター、県・市報、新聞広告、SNS、ホームページ等様々な広報手段がありますが、実施する場所やイベントのターゲット層によって媒体を選ぶことが重要です。

また、広報の内容として、募集する対象食品は具体例やイラスト等で示しておくと分かりやすいでしょう。

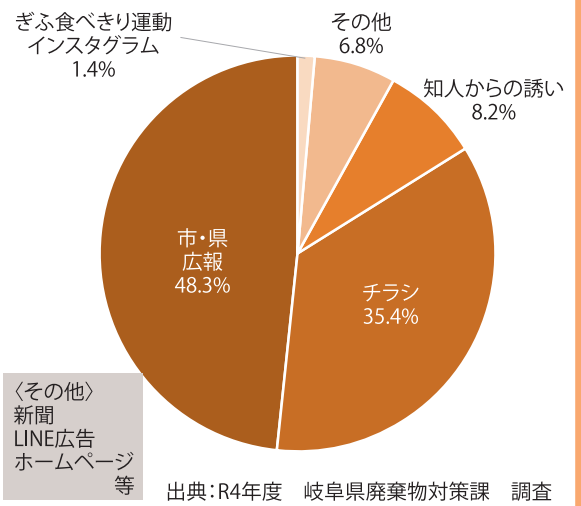
📝 フードドライブの実施について、どこで知りましたか。

県の実証における参加者へのアンケートによると、約5割の方が県・市報を見ての参加でした。自治体が主体となる場合は市報、それ以外の場合は地域の広報誌等で周知を行うと効果的です。

また、今回の実施地域の学校、食品小売店等に広くチラシを配布・配架したことも、実施地域への周知に繋がったと思われます。

なお、SNSでの周知については、広報を行うアカウントによっては、反響があっても実施地域の方には届いていない場合がありますので、注意が必要です。

広報に使用したチラシ等はP8「7 参考資料」をご参照ください。



5 フードドライブを実施しよう

(1) 人員

以下を目安に回収場所の役割分担を行いましょ。実施方法や回収場所の規模によって必要な人数が変わってきますが、回収当日は概ね3～4人程度の人員が必要となります。

また、食品提供先への食品の運搬は、2名程度で行います。

役割	人数	内容
受付	1名～2名	・食品の受付、受付票の記載のお願い ・食品の確認
記録	1名	・食品の種類、数量、状態の確認 ・記録
分類	1名	・食品の仕分け ・整理
その他	上記と兼務	・寄贈者の案内 ・その他対応

(2) 当日のスケジュール、受付手順

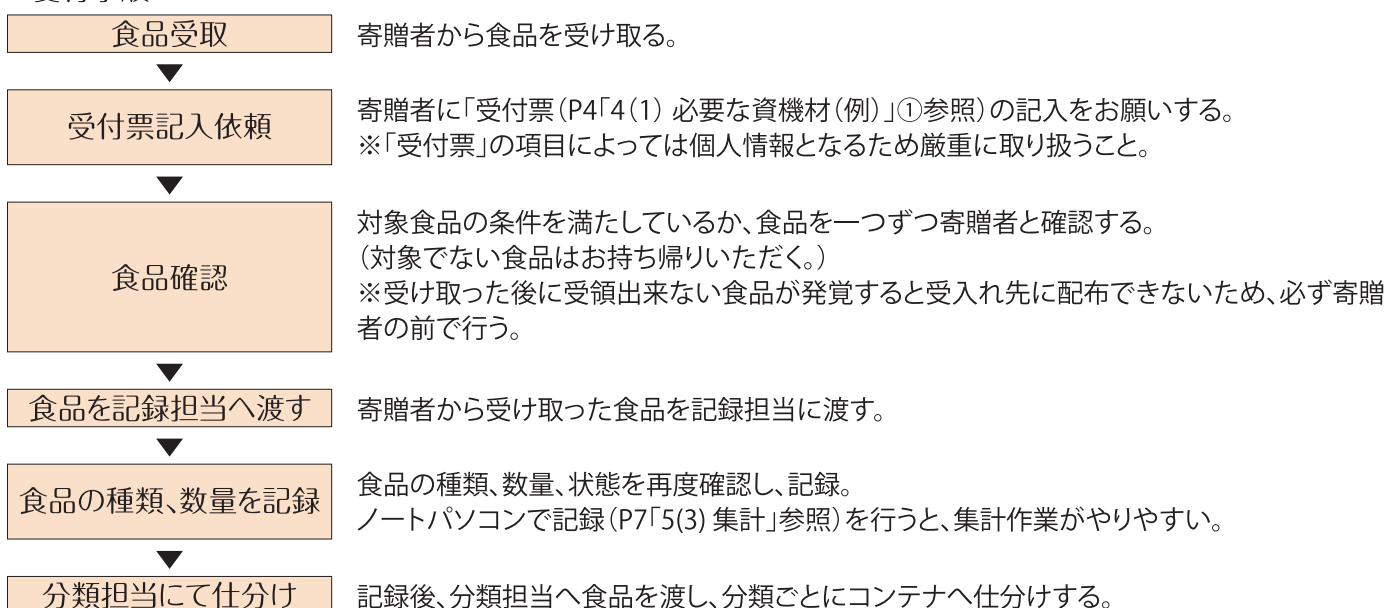
当日のスケジュール及び食品を受付する流れは以下の通りです。事前にスタッフ同士で、食品の分類、回収対象、動作確認を行っておくと良いでしょう。

<実際のタイムスケジュール例>

時間	内容
9:00	スタッフ集合、会場への資機材搬入
9:15	レイアウトに合わせて設営
9:30	備品、運営内容確認
9:55	開始5分前にはポジションにスタンバイ
10:00～15:00	実施(半日～終日で実施)
～15:45	食品を整理
16:00	・資機材搬出 ・食品運搬(別日の場合有)



<受付手順>



(2) 引渡しまでの保管場所

保管は以下のような場所で行いましょう。常温保存できる食品であっても、部屋の環境によっては状態が悪くなってしまうものもあるため、長期保管はせずに、できるだけ早めに引渡すよう食品提供先との調整が必要です。

- ・直射日光が当たらない場所
- ・高温多湿にならない場所
- ・動物や昆虫が入らない場所
- ・雨等で濡れない場所
- ・施錠ができる場所

(3) 引渡し方法

引渡しにあたっては、「P7「6(1) 食品提供先との調整」のとおり行いますが、コンテナや段ボール箱に入れた状態で引渡すようにしましょう。(コンテナごと引渡す場合は後日コンテナは回収します。)

なお、食品提供先の団体によっては保管場所が少ない場合もあるため、複数回に分けて配送することも視野に配送計画を立てておきましょう。

7 参考資料

(1) 実証に先立ち行った先行事例調査

県が行った実証に先立ち、県内で8年前からフードドライブを定期的に行っている岐阜市女性の会連絡協議会会長の河野美佐子様(岐阜市生活学校 代表 兼務)にお話を伺いました。

「冷蔵庫の掃除の際に廃棄する食品の量を記録し始めたことをきっかけに、食品ロス削減への意識が高まり、周囲に広げていく形でフードドライブを始めて8年。当初は食品提供先とうまくマッチングしませんでした。個人への引渡しは相手が恐縮してしまうため、ワンクッション挟む形が良いと考え、児童養護施設に相談したところ、受入希望がありました。その後は子ども食堂、生活困窮関係等と受入先が広がっており、ニーズの高まりを感じています。



受付の様子



岐阜市女性の会連絡協議会 会長 河野 美佐子様

毎月実施していますが、現在では企業や学生の方からの寄付も増えており、1回の実施で多い時は大きめの段ボール3、4箱分集まっています。

『もったいない』から『ありがとう』に繋がるやりがいのある活動で、行政との連携の大切さも実感しています。』

(2) 令和4年度岐阜県フードドライブ推進事業における実証について

○広報

県がフードドライブを実施するにあたって、以下のような手段で広報を実施しました。

- ・チラシ
- ・市、県広報
- ・LINE広告
- ・新聞
- ・ぎふ食べきり運動Instagram等



チラシ 表(左)、裏(右)



Instagramの広告

○回収実績

県内3ヶ所での回収実績は以下のとおりです。回収した食品をA～Mの13種類に分類し、分類ごとに回収した食品の数量を集計しました。特に多かったのは、箱での持ち込みや企業提供があった「E 菓子類」や中華丼の具やおかゆ等の「F レトルト食品」でした。

<回収実績>

	海津市	恵那市	高山市	計
参加者数(人)	72	26	39	137
数量(品)	1,534	238	854	2,626
重量(kg)	469.5	247.6	186.5	903.6

<回収した食品の内訳>

※オレンジ太字は各市、3市計それぞれで上位3項目の品目

(単位:個)

分類	海津市	恵那市	高山市	計
A 米	11	15	7	33
B 餅	1	0	1	2
C 乾麺	43	31	70	144
D 乾物	15	10	41	66
E 菓子類	668	28	207	903
F レトルト食品	217	49	127	393
G インスタント食品	184	20	72	276
H 防災備蓄用品	52	2	6	60
I 調味料	48	10	63	121
J 缶詰・瓶	53	28	57	138
K 飲料	178	45	84	307
L 粉類	3	0	18	21
M その他	61	0	101	162

○食品提供先及びアンケート

各市にて回収した食品は、市社会福祉協議会やNPO法人等7団体へ照会の上、配送しました。また、各団体には終了後、以下のとおりアンケートを実施しました。

①1市より食品提供にあたって、事前の調整は提供の何か月前でしたか。

6ヶ月前	3ヶ月前	1ヶ月前	～4週間前
1	1	2	2

1団体が「1ヶ月前にはしておくとい」と回答。

②今回の賞味期限の設定(期限まで1ヶ月以上)はいかがでしたか。

問題ない	もう少し期限までであると良い
4	3

賞味期限「2～3ヶ月前」の食品を希望。

③今回の提供を受けた食品は、普段より提供を希望していた食品でしたか。

希望	一部希望外
5	2

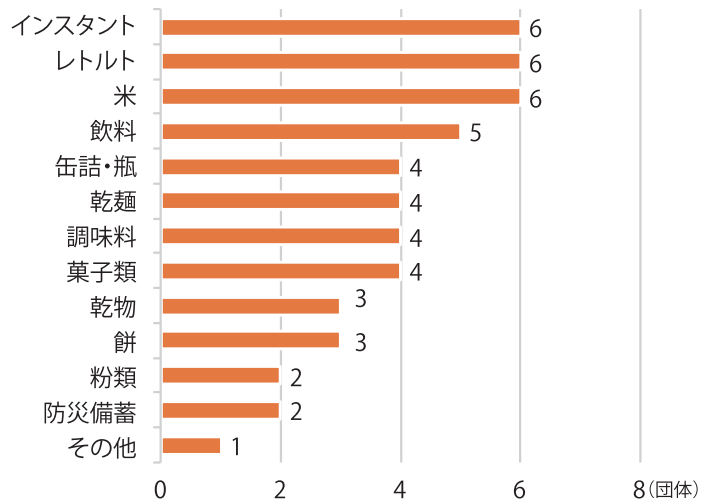
希望外食品
辛い味付けの食品、海外製品、市販ではない精米済の米、1箱だけの食品

- ・開封済の米は虫が入る場合があるため、市販の未開封のものに限るか受付時の確認や保管に注意が必要。
- ・少数の食品の場合、子ども食堂等まとまった数が必要な団体では受取りが難しい場合有。

④今後、どういった食品を中心に募集するとよいですか。

米	餅	乾麺	乾物
6	3	4	3
菓子類	レトルト	インスタント	防災備蓄
4	6	6	2
調味料	缶詰・瓶	飲料	粉類
4	4	5	2
その他	その他		
1	規格外等の果物		

・レトルトやインスタント等、最低限の手順で食べられる食品、主食となる米の希望が多い。



⑤食品の提供を受ける際、食品の内訳が確認できる表があるとよいですか。

あるとよい	なくともよい
3	4

・食品の引渡し時にその場で状態を確認するため、不要とする団体が多い。
 ・相手のニーズに応じてデータでの供与、食品名・賞味期限の記載方法等検討が必要。

⑥今回食品を段ボール箱、コンテナ等でお渡ししました。お渡しする手法としてはどうでしたか。

・全ての団体が「よかった」と回答。一部団体では取りに行くことも可能とのことだが、人手が足りない団体が多いことを踏まえ、基本は回収側で配達することを前提に調整が必要。

⑦その他

- ・保管場所がない団体では、多くの量の食品をひとまず市役所に預ける事例があった。
- ・配布の際に引渡し側から期限が近いものや状態が悪いものについて、別途説明や管理されていた。
- ・支援食品に関してはインスタント、レトルト食品を中心にストックしておきたい。
- ・緊急性が高い、ライフラインがストップしている、家事能力が乏しい方々への支援が多いため、調理を必要とする食品の需要は少ない。

(3) 県内で実施されたフードドライブ

物品の貸出しにより実施されたフードドライブの一部をご紹介します。



株式会社レクストエール

実施概要

実施日 令和5年12月3日(日)
 場所 イル・クオーレ(結婚式場)
 備考 事前に複数の寄付先の寄付条件(種類・賞味期限等)について調査し、食品から日用品に至るまで幅広く寄付を募りました。

実績

参加者 50名
 回収数 98点
 主な食品 飲料、調味料、レトルト食品

来場されたお客様の中にはフードドライブの活動についてご存じの方も一定数いらっしゃいましたが、大半の方がご存知なく、認知度がまだまだ低いということがわかりました。自治体ももっと積極的にこの活動を周知していく必要があると感じました。

来場されたお客様に対し、フードドライブの活動についてご説明したところ「いい活動ですね」と興味をもってくださいの方も多数いらっしゃいました。

集まった食品や日用品は、中津川市と多治見市の社会福祉協議会にそれぞれ寄付を行い、地域には寄付を必要とされている方がたくさんいらっしゃることもわかりました。

当社では今後もこうした活動を通じて、社員や地域の皆様にもSDGsに対する意識がさらに高まっていくことを目標に、引き続き地域への貢献活動を積極的に進めていきたいと考えております。



リコージャパン株式会社

実施概要

実施日 令和5年12月5日(火)～12月25日(月)
場 所 リコージャパン株式会社 岐阜支社

実績

参加者 17名
回収数 66点
主な食品 社内備蓄品、レトルト食品、お菓子

社内や家庭のもったいない食品が地域貢献につながることで、SDGsや社会課題を身近に感じられる機会となりました。今回集めた食品は、和光会グループ NPO法人 地域支え合い倶楽部様へ寄付させていただきました。「必要以上の食料品を購入しないよう心掛けるようになった。」という声もありますので、今後も継続的に社会貢献とフードロス削減を図っていきます。



海津市

実施概要

実施日 令和5年10月28日(土)～10月29日(日)
場 所 海津市産業感謝祭 環境課ブース

実績

参加者 17名
回収数 175点
主な食品 菓子類、缶詰・瓶、調味料

今回はイベントに併せて、単発での実施でしたが、他の団体が物販ブースばかりのなかでの開催であったにもかかわらず、フードドライブだけを目的に寄付しに来てくれた方もおり、予想していた以上に食品の寄付をいただくことができました。



高山市

実施概要

実施日 令和5年9月23日(土)
場 所 スーパーセンターシマヤ ラクール飛騨高山店 別棟駐車場内

実績

参加者 12名
回収数 60点
主な食品 レトルト食品、インスタント食品
備考 高山市快適環境づくり市民会議主催のフリーマーケット会場内でブースを設け、実施。

市内でも様々な団体がフードドライブを実施しており、フードドライブや食品ロスに対する市民の関心は高まってきているのではないかと思いますので、今後も引き続き実施していければと思います。

周知方法について、チラシ配布等は行わず、市広報、ホームページ等での周知を中心としたためか、人数、食品ともあまり集まらなかったため、少し工夫が必要だと感じました。



各務原市

実施概要①

実施日 令和5年9月16日(土)～9月30日(土)
場所 無印良品イオンモール各務原インター店

実績①

回収数 77点
主な食品 米、レトルト食品



実施概要②

実施日 令和5年10月1日(日)～10月31日(火)
場所 アピタ各務原店

実績②

回収数 190点
主な食品 缶詰、菓子類、飲料



実施概要③

実施日 令和5年11月18日(土)
場所 産業・農業祭(岐阜かかみがはら航空宇宙博物館)

実績③

回収数 22点
主な食品 缶詰、レトルト食品、米

今回、初めて市としてフードドライブを実施しましたが、たくさんの方々にご協力いただき予想より多く食品が集まり、食品を必要とする方への支援・食品ロス削減意識の啓発等に繋がったと感じています。

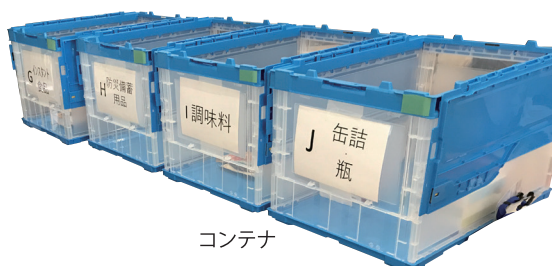
今後、フードドライブの普及拡大のために、既にフードドライブを実施している民間企業の紹介や、実施に関心を持つ民間企業への働きかけなどを進めていきます。

(4) 実施を検討されている方へ

○備品の貸出しについて

使用する帳票等のデータや県が行う一部備品の貸出しについては、県HPをご参照ください。

フードドライブ食品受付票		受付No.
寄贈者	年齢	開催場所 住所(市町村名まで):
	歳代	
寄贈食品 品目	<input type="checkbox"/> 米 <input type="checkbox"/> 餅 <input type="checkbox"/> 乾麺 <input type="checkbox"/> 乾物 <input type="checkbox"/> 菓子類 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> インスタント食品 <input type="checkbox"/> 防災備蓄用品 <input type="checkbox"/> 調味料 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 飲料 <input type="checkbox"/> 粉類 <input type="checkbox"/> その他()	
	以下の内容について、確認しました。	
	<input type="checkbox"/> 賞味期限が2ヶ月以上であることを確認しました。 <input type="checkbox"/> 未開封で包装に破損箇所はありませんでした。 <input type="checkbox"/> 常温保存が可能な食品であることを確認しました。	



コンテナ



のぼり旗

パネル

岐阜県 フードドライブ

検索

または



○県内の食品受入可能団体一覧(生活困窮者支援・子どもの居場所等)

以下の団体は、フードドライブの食品の受入れが可能な団体になります。なお、食品を提供するにあたっては、**フードドライブを実施する前に必ず調整が必要**となります。フードドライブの実施を検討する段階で、受入れが可能かどうか個別に相談しましょう。

市町村	団体名	連絡先	冷蔵庫の有無	特に希望する食品
岐阜市	一般社団法人 こども食堂ナナカフェ	☎ 070-4461-9215 ✉ sense01100110@yahoo.co.jp	○ ※冷凍庫も有	米、レトルト・インスタント食品、缶詰、調味料、菓子類、飲料(水・ジュース類)
	岐阜キッズな(絆)支援室	☎ 070-5330-1192 ✉ mwakaoka2@gmail.com	○	米(精米・玄米・α米等)・レトルト食品・缶詰・菓子類・麺類・日用品
	岐阜県子どもの居場所応援センター	☎ 058-278-7050	○ ※お米の保管にのみ利用	米類(精米、玄米、α米、パック米等)、インスタント食品(缶詰、カップ麺、レトルト食品等)、飲料類(水、お茶、ジュース等)、菓子類(駄菓子、袋菓子(個包装のもの)等) ※常温保存、未開封の状態、賞味期限が1ヵ月以上のもの限定。
	社会福祉法人長良福祉会 長良ひまわり社 えがお食堂	☎ 058-295-4026(長良ひまわり社)	○	精米等
	ちいき食堂Oneぱくキッチン (医療法人社団友愛会)	☎ 058-231-2670 ✉ one-paku@yuuaiikai.com	×	精米、菓子類、レトルト食品
	特定非営利活動法人 あんじゅ	☎ 058-234-5678 ✉ angel.anju.angel.anju.angel.anju@gmail.com	○	米、菓子類、レトルト食品、パン、日用品等
	ひとり親ピアサポート団体 「ひとり親Cheers」	☎ 050-3561-5087(代表) ✉ hitoriyacheers@gmail.com	×	常温保存、未開封、賞味期限まで1ヶ月以上のもの。 トイレットペーパー、生理用品、紙おむつ等の日用消耗品も歓迎。 ※野菜・果物は事前に要相談
	防災災害子ども支援チームひまわり やまのおてらの子ども食堂	☎ 080-5064-8337 ✉ team.himawari.gifu@gmail.com	○	レトルト食品・菓子類
	わいわいこども食堂	☎ 058-232-2105	○ ※冷凍庫も有	米、レトルト食品、菓子類等
	羽島市	一般社団法人 こどもがセンター	☎ 058-377-3431 ✉ yjcyq584@yahoo.co.jp	○ ※冷凍庫も有
社会福祉法人 岐阜羽島ボランティア協会		☎ 058-393-0751	○ ※冷凍庫も有	米、レトルト食品、菓子類、飲料等
学びサポート教室 (社会福祉法人羽島市社会福祉協議会)		☎ 058-391-0631	×	菓子類
各務原市	一般社団法人 まちのごえん	☎ 090-7863-2288 ✉ machinogoen@gmail.com	○ ※冷凍庫も有	米、野菜、レトルト食品等加工品、粉・液体ミルク、菓子類
	シングルマザーと その子どもたちの会~freely~	☎ 080-4215-6382 ✉ freelyfreely66@gmail.com	×	精米、菓子類、レトルト食品、缶詰等
山県市	にこぺこぐう食堂	☎ 090-3935-1526	○	米、調味料、缶詰、乾物、野菜、水、レトルト食品等加工品、液体ミルク、乾麺
	山県市社会福祉協議会	☎ 0581-23-1211	○	子ども食堂で使用できる調味料
瑞穂市	NPO法人 キッズスクエア瑞穂	☎ 058-326-2236 ✉ kids.sq@dream.com	○ ※冷凍庫も有	缶詰、レトルト食品、麺類 ※野菜や果物は応相談
	みずいろ食堂(日本水機工株式会社)	☎ 058-372-5568	○	菓子類、レトルト食品等
笠松町	こども・だれでも食堂なおちゃん (フードバンクぎふ笠松支部)	☎ 090-8541-0434 / 090-6803-0628	○	菓子類、レトルト食品、冷凍食品
大垣市	特定非営利活動法人 フードバンクぎふ	☎ 0584-92-1400 ✉ foodbankgifu.jp@gmail.com	○	①主食(精米・白米、乾麺、日持ちするパン、パックご飯)②副食(インスタントみそ汁、スープ類、たんぱく質系缶詰、レトルト食品、冷凍総菜、日待ちする野菜)③その他(茶葉、ティーバッグ、調味料)

市町村	団体名	連絡先	冷蔵庫の有無	特に希望する食品
大垣市	みち草会	☎ 090-7042-4439	×	菓子類、レトルト食品等 常温保存可能なもの
	よっといで!@北地区	☎ 090-7498-3088	○	菓子類、レトルト食品
	和っとひろば@西地区	☎ 090-1471-8601	○	菓子類
海津市	フードバンクきずな (社会福祉法人海津市社会福祉協議会)	☎ 0584-55-2300	△ ※玄米保冷庫、冷凍庫は有	乾麺、レトルト・インスタント食品、 防災備蓄、缶詰・瓶
安八町	たまにはお寺で心身脱落(たま寺)	☎ 090-4190-1022	○ ※冷凍庫も有	精米、菓子類、レトルト食品
養父市	NPO法人 foodpantryいいものねっとわーく	☎ 090-9138-4944 ✉ iimononetwork@gmail.com	×	精米、食品、生鮮品等
可児市	可児市社会福祉協議会	☎ 0574-62-1555	○	米、レトルト食品、調味料
	地域たすけあいの会	☎ 090-4163-1707 ✉ gifu_chiikitasukeainokai@yahoo.co.jp	○ ※冷凍庫も有	レトルト食品、米、野菜
川辺町	とうのうこどもキッチン	☎ 090-4218-6525 ✉ tonokodomo@gmail.com	○	菓子類、レトルト食品、 常温保存可能なもの
八百津町	つばき食堂	☎ 090-3858-5752 ✉ 802tsubaki@gmail.com	○ ※冷凍庫も有	調味料、乾物、缶詰、レトルト食品、 菓子類
	八百津町社会福祉協議会	☎ 0574-43-4462	×	精米、レトルト食品、菓子類等
御高町	ふしみこども食堂	☎ 090-7304-7676 ✉ fushimi.kodomo.shokudo@gmail.com	○ ※冷凍庫も有	調味料、乾物、缶詰、レトルト食品、 菓子類
多治見市	まごころ食堂実行委員会	☎ 0572-74-2160(まごころ食堂 ハニー・ハウス内) ✉ k-kuuga.agito@yk.commufa.jp	○	精米、レトルト食品、カップ麺、 菓子類
恵那市	NPO法人 みんなで子育てドロップス	☎ 0573-22-9710	×	米、乾麺、調味料、缶詰・瓶
中津川市	一般社団法人 ヒガシミノ団地	☎ 0573-64-9447	×	精米、レトルト食品、 缶詰等賞味期限が長い食品
高山市	一般社団法人 てとら	☎ 0577-62-9001	○ ※冷凍庫も有	全て
	NPO法人 飛騨高山わらべうたの会	☎ 0577-57-8577	×	米、菓子類、レトルト・インスタント 食品、飲料
	高山市江名子校区まちづくり協議会	☎ 0577-34-7253	○	米・菓子類・レトルト食品
	ばあちゃんズ	☎ 090-1727-5259	×	米
	フードバンク飛騨高山	☎ 0577-32-6409	×	米、菓子類、レトルト・インスタント 食品、調味料、飲料
愛知県	認定特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋	☎ 052-913-6280 ✉ info@2h-nagoya.org	×	米、カップ麺、レトルト、缶詰等の おかずとなる食品
	特例認定特定非営利活動法人 フードバンク愛知	☎ 0568-65-6650 ✉ info@fb-aichi.org	○ ※冷凍庫も有	精米、菓子類、冷凍食品、カップ麺、 飲料

また、上記以外にも、農林水産省ホームページ「フードバンク」から『2.各フードバンク活動団体の紹介』にアクセスすることで、近隣のフードバンク団体を探ることができます。

【農林水産省HP】https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/foodbank.html

8 おわりに

県としてフードドライブを実証するにあたって、実施市、食品受入団体(食品提供先)、県関係課等からなる「岐阜県フードドライブ推進検討会議」を立ち上げ、対象食品の設定や実施にあたっての留意事項等について意見の聞き取りを行いました。

<岐阜県フードドライブ推進検討会議メンバー>

実施主体(福祉部局含む)	高山市環境政策部生活環境課
	高山市福祉部福祉課
	高山市福祉部子育て支援課
	恵那市水道環境部環境課
	恵那市医療福祉部子育て支援課
	恵那市医療福祉部社会福祉課
	海津市市民環境部環境課
フードドライブ設置先	高山市快適環境づくり市民会議(高山市環境政策部生活環境課)
	株式会社バローホールディングス
食品受入団体等	社会福祉法人 海津市社会福祉協議会(フードバンクきずな)
県関係課	岐阜県農政部農産物流通課
	岐阜県健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課
	岐阜県環境生活部県民生活課
	岐阜県健康福祉部地域福祉課
事務局	岐阜県環境生活部廃棄物対策課

フードドライブは食品ロス削減に向けて未利用食品を有効活用するための取組みではありますが、食品を必要とする方々への支援にも繋がります。「もったいないからありがとうに!」をキャッチフレーズとして、オール岐阜で県内のフードドライブの活動を広げていきましょう。



12 つくる責任
つかう責任



【問合せ先】

岐阜県環境生活部廃棄物対策課
〒500-8570
岐阜県岐阜市数田南2-1-1
TEL 058-272-8214

